

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	被保護者就労支援事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課	
		予算科目	3 款 3 項 1 目	事業番号	1885	所属長名	米湊明弘
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	松田智樹	
法令根拠等	生活保護法 (改正)				実施期間	【開始】	令和/平成 26 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 心の通った社会福祉の推進					【終了】	令和 年度 (予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	被保護者就労支援事業の活性化及び円滑な推進を図り、誰もが安心して自分らしく暮らしながら、相互に支え合う思いやりのある地域づくりに寄与する。			事業の対象	生活保護受給者で就労意欲のある65歳未満者		
事業の目的	改正生活保護法に基づき、就労支援員を配置し早期の保護脱却のため集中的な就労支援を実施する。			昨年度の課題	長期化するコロナ禍によって求人状況に変化が生じていること等を踏まえた事業実施に努めること。		
事業の内容 (整備内容)	生活困窮者支援対策事業として実施していた被保護者就労支援事業を改正生活保護法に基づき、引き続き就労支援員を配置し、早期保護脱却のため、ハローワークナビゲーターと連携し就労支援を実施する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績	
直接事業費	2,188	2,255	198	0	0	2,329	就労支援プログラム利用者	人	19	18	17	20	
財源内訳													
国庫支出金	1,872	1,916	0	0	0	1,791							
県支出金	0	0	0	0	0	0							
地方債	0	0	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0	0							
一般財源	316	339	198	0	0	538							
職員の人工 (にんく) 数	0.73	0.73				0.73							
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794							
※ 直接事業費+人件費	7,912	7,945				8,019							
主な実施主体	直接実施 (嘱託職員 1 人を含む)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計			
					2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	11,275			
成果指標	指標	被保護者に対する就労支援プログラム参加者数	単位	人	⇒	区分年度	前年度	4 年度	5 年度	目標 毎年度			
	指標設定の考え方	就労支援プログラムに参加することで、結果的に自立による廃止及び生活扶助費の支出軽減に繋がるケースがあるため、事業の効果を計測できる。				目標	18	18	18	18			
	指標で表せない効果	被保護者の高齢化も懸念され、高齢を理由に意欲はあっても就労できないケースも見受けられる。				実績	19	20					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		対象者の年齢や健康状態を考慮しながら、就労支援員とハローワーク等と連携して就労支援しているが、対象者自身の気質の問題が多く、支援中断となるケースがあるため、状況に応じた支援方法を模索する必要がある。									
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A	事業成果・工夫した点 就労支援員がハローワークや担当ケースワーカーと連携し、早期就労に向けて対象者に応じた支援を実施している。面談では、本人の意向をくみ取り希望する職種の情報収集を行い、前向きに求職活動できる環境づくりに努めている。また、生活困窮担当と連携し、これまで就労した経験がない者や就労意欲の乏しい対象者に対し、生活困窮者就労準備支援事業への参加を促した。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に对应しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	3	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3							
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4							
	の	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D		事業の方向性 就労稼働年齢層 (65歳未満) の被保護者の自立助長に向けた事業であり、支援を継続する必要がある。		
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4					
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に对应しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4					
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3						
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3							
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
評価								事業の所属長の課題認識 被保護者高齢化率が6割を超え、傷病・障がいにより就労困難者を除き稼働年齢層の対象が減少しているが、50歳半ばから65歳までの被保護者においては、支援を実施するも、なかなか就職に結び付けない状況があるため、就労意欲を落とさぬようきめ細かな支援が必要である。また、就労支援員とケースワーカーとの連携は不可欠であり、支援員との定期的な情報交換に努める必要がある。			